

株式会社NHK文化センター 2021年度事業計画

コロナ禍から1年、緊急事態宣言の再発出など感染収束を見通せず、厳しい経済環境が続く中、わが国でもワクチン接種が開始され、社会全体で「with コロナ時代」にいかに対応していくかが問われています。

2021年度は「2021-2023年度経営計画」の初年度として、構造改革と講座事業変革を推進し、業績回復と「新たな学びのプラットフォーム」づくりに全力で取り組みます。さらに、NHKグループ改革に沿って関連団体との連携をより一層強化、NHK文化センターで働く一人ひとりが講座事業を通じて創造性を最大限に発揮して、公共メディアの理解促進に貢献していきます。

【重点事項】

1. 「ダウンサイズ構造改革」を着実に実行、スリムで強靱な組織要員体制に再構築
2. 「教室講座とオンライン講座のハイブリッド化」で新たな成長基盤づくりを推進

【事業運営の主な施策】

1. 聖域なき「選択と集中」による構造改革
 - 損益分岐点を見極めて支社体制を見直し、組織要員体制のダウンサイズを実行
 - 本社管理間接部門を効率化し間接費を削減
 - 教室スペースの効率的運用による生産性向上を推進
 - ダウンサイズに適したコンパクトな経営体制の構築
2. 教室講座の高付加価値化とオンライン講座の拡充により営業利益率を向上
 - 訴求力の高いテーマや、魅力的な地域ブランド、人材を活かした講座を支社連携で戦略的に開発し、教室や部外施設でのプレミアム講座を段階的に拡充
 - 教室講座のハイブリッド化等で講座のオンライン化を拡充、いつでもどこからでも学べるように講座コンテンツを提供し、お客様の多世代化・多層化をさらに推進
 - WEB申込やオンライン講座受講者の増加に円滑に対応するため、スマートフォンサイト改修やアプリ化等DX化を進めるとともに、社員の講座企画・制作力を強化、制作・配信サポート体制も整備して、ライブ配信に加えオンデマンド配信コンテンツも増加させ、多様な学びのニーズに応える
 - 専門性の高い人材への業務委託を拡大して、高品質の講座コンテンツの企画力・制作力を整備、豊かな人脈と経験を活かした講座開発を進め、講座コンテンツの価値の最大化を図る

3. NHKグループ連携の強化と企業・法人提携向けコンテンツ開発の推進
 - NHKおよびNHKグループ連携強化で「NHK文化セミナー」等の理解促進事業を着実に推進するとともに、新事業創造を積極的に推進
 - 「with コロナ時代」における企業や法人の教育コンテンツに対する新しい需要を取り込んで、教室とオンラインの両面アプローチで継続的な提携事業を開発・拡大

4. ワクチン接種の進捗を見通して、1年間の講座推進戦略年間計画を策定、段階的に集客を拡大して受講者数をさらに回復
 - 教室・オンライン両方の訴求力のあるコンテンツを、インターネットを活用して効果的に広告宣伝し、新規のお客様を獲得
 - コロナ前に受講していただいていたお客様へのマーケティングをより一層強化して受講の再開と新規受講勧奨を推進、お客様とのコミュニケーション回路を整備

5. 安心・安全に学び働ける環境整備、個人情報保護とサイバーセキュリティを強化
 - ワクチン接種開始をふまえてきめ細かい感染予防対策を徹底
 - オンライン講座受講者増等に対応して個人情報保護とサイバーセキュリティをより一層強化
 - 組織要員体制のダウンサイズにあわせた事業継続計画（BCP）を策定・実施

6. 柔軟な働き方ができる職場環境づくりと従業員の能力開発を、1年間の人材戦略を策定して積極的に推進
 - リモートワークをより一層活用した、効率的で柔軟な働き方をさらに推進
 - 新事業に適応できる社員の能力開発やリカレント教育を推進するとともに、キャリア開発支援に向けた制度を整備

【2021年度収支計画】

今後のコロナ感染動向が不透明な中、「ダウンサイズ」構造改革と講座開発を推進して業績回復に全社で取り組み、対2020年度で赤字の大幅な圧縮に努め、営業利益を改善します。

営業収入	45億0,300万円
営業費用	46億4,500万円
営業利益	1億4,200万円

営業収入などは現時点での想定であり、新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大など、今後の社会・経済状況の変化などによっては見通しの変動する可能性があります。